

会 議 録

（ 1 - 5 ）

会議の名称		第11回春日部市中心市街地まちづくり審議会	
開催日時		令和8年5月19日（火）	開 会 午前 10時00分
			閉 会 午前 10時55分
開催場所		春日部市役所本庁舎コミュニティ棟1階ひだまりホール	
議長(会長等)氏名		久保田 尚	
出席者	委員氏名	(出席人数：13名) 久保田 尚、木下 芳郎、小沼 進、白石 昌三、鈴木 敏仁 齊之平 伸一、小川 一博、山崎 正雄、早川 芳夫、外谷地 友幸 駒月 理人、福村 有祐、村田 睦剛	
	説明者その他	(出席人数：4名) [代理出席者]東武鉄道株式会社経営企画本部課長：越野 晴秀 [代理出席者]春日部市市管理機構内タクシー協議会会長代行：山口 正史 [オブザーバー]埼玉県県土整備部道路街路課主査：秋山 浩幸 [オブザーバー]埼玉県県土整備部道路街路課技師：藤枝 康一	
	事務局	(出席人数：10名) 都市整備部長：波多野 康治 鉄道高架担当部長：中野 泰博 都市整備部参事（兼）都市計画課中心市街地担当課長：齊藤 博之 鉄道高架推進課長：山野辺 恵 都市整備部都市計画課中心市街地担当：6名	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会 2 議事（全て公開） (1) 報告事項 (2) その他 3 閉会	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：	
配布資料		第11回春日部市中心市街地まちづくり審議会 参考資料 春日部市中心市街地まちづくり計画の進捗状況について	
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録署名の指定		鈴木 敏仁 委員	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議長	<p>《 報告事項1 エリアプラットフォームの構築について 》</p> <p>エリアプラットフォーム（以下、「AP」という。）という協議体自体は、今後主体的なまちづくりの運営として必要だと感じているが、春日部市中心市街地まちづくり審議会（以下、「本審議会」という。）で議論している、駅前広場などのまちづくりのハード面とはどう関係してくるのか、本審議会とAPとの関係性が見えにくいと感じる。今後APがやっていく社会実験も、本審議会がめざしているものを想定したうえでの社会実験なのか。まず本審議会と調整した上で実施していくのか。</p> <p>資料4ページで当審議会とAPの関係性が示されているが、今後はどのように進めていくのか、事務局に説明を求める。</p>
事務局	<p>今後は連続立体交差事業に併せて春日部駅の東口及び西口の駅前広場のリニューアルや、駅前通りのにぎわい創出も予定しており、APで出た意見を踏まえて、駅前広場の設計をしていきたいと思っている。</p>
議長	<p>APから出た意見を駅前広場の整備に生かすのは理解したが、APから実現不可能な提案が出てきた際のチェックや、本審議会とAPの情報交換はどのようにするのか。</p>
事務局	<p>APから重要な意見が上がった際には、事務局から本審議会にその都度報告を上げていき、今後の整備に繋げていきたいと考えている。</p>
委員	<p>資料7ページの商工団体にある「粕壁商店街 NEXT PROJECT」は、すでに東口で県道を使用して社会実験という形で月2回、ほこみちを実施したり、東口最大のイベントである春日部夏祭りの開催にあたって、市の都市計画課や商工振興課をはじめとした複数の部署が関わって来て、商店会の若手メンバーと市が連携をとれる体制ができており、官と民が連携する土台はできていると感じている。この機運をAPにも広げてもらいたい。</p>
議長	<p>承知した。今後行う駅前広場の設計でも、同じように連携して取り組んでもらいたい。今後のAPと本審議会との情報交換は徹底してほしい。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	<p>《 報告事項2 春日部市中心市街地まちづくり計画中間評価について 》</p> <p>春日部市中心市街地まちづくり計画（以下、「本計画」という。）の 評価が順調に進んでいることは理解したが、C評価もいくつか見受けら れる。理由があつてのC評価であるが、今後計画を進めていくにあつ てはC評価になっている部分をしっかり促進してほしい。</p>
事務局	<p>今後とも進捗に併せて鋭意実施していきたいと考えている。</p>
議長	<p>参考資料の4ページのNo. 20について、「駐車スペースの合理化等を 念頭に交通導線の協議を進めていく」という点の評価がCになっている が、自動運転についてはともかくとして、IT技術を使用するとバスや タクシーの運用が高度化されて、駐車場のスペースが見直せることを 狙っていると理解しているが、これは交通事業者や警察と相談しなが ら、どういったことが可能なかを検証しないといけない、大変なこ となのだから、もうすでに着手していないといけない取組なのではな いかと思うが、事務局としてはいかがか。</p>
事務局	<p>委員のご指摘のとおり、早急に準備や協議を進めていくべき取組であ ると事務局も認識しているが、「AIや自動運転といった最新技術を活 用して」という部分が市全体としてもなかなか目処が立っていないこ ともあり、引き続き検討を進めていきたい。</p>
議長	<p>主要駅、今回の場合は春日部駅になるが、春日部駅に係るバスや タクシーについて、最新技術でなくとも、すでにある技術をどこまで 活用できるかといった議論でもいいと思うが、とにかく交通事業者の 協力がないと進めていけないことなので、早めに協議しないと設計に 間に合わず、結局普通のバス、普通の駅前広場になってしまうと思う。 自動運転についてはひとまず置いておいて良いと思うが、運用の高度 化という点については、事業者と協力して進めていってほしい。</p>
事務局	<p>現在、他自治体の事例を調査している状況であり、現状の進捗は芳し くないが、今後、事業者の協力を仰ぐとともに、引き続き進めていく。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	<p>第1回目の本審議会において、今回資料18ページの「施策2-2 巡る楽しみを高めるまちづくり」における「道路空間の活用によるにぎわいづくりを進める路線」部分について提案させていただいていたが、地権者との関係や、道路に面している店舗や商店会との話し合いもいまだ行われていないが、その後の進捗はどうか。</p>
事務局	<p>今現在はまだ地権者や商店会の方との打ち合わせは行っていない。当該路線は、今後のにぎわい創出の可能性を大いに秘めているという認識は事務局としてもしているので、これから注力していく。</p>
委員	<p>大型総合スーパーの撤退に伴い、現在ショッピングモールが春日部駅西口のメインになっている。なので、春日部駅からララガーデンまでの通りは、今後はさらに人が集まってにぎわい創出の機会が多くなる最も重要な通りである。春日部西口商店会としても、早急に地権者との組合を設立したり、商店会との意思疎通を図っていただきたい。</p>
委員	<p>観光の面から、「インバウンド旅行者に春日部市内で宿泊をしてもらいたい」という声が市民から上がっている。現在ある2つのビジネスホテルは満室な事が多い。春日部を訪れた外国人旅行者に、話を伺うと、「近隣にシティホテルが欲しい」という意見が多い。近隣のシティホテルがある地域では、外国人旅行者が多く来訪されて地域経済の活性化に繋がっていると聞く。春日部も是非誘致して、地域経済の活性化に繋げてほしい。</p>
事務局	<p>中央一丁目地区再開発の組合の理事会に月1回参加させていただいており、組合の検討内容を色々と伺っている。その中で、委員が述べたようなインバウンド需要に対する検討も行っている。春日部の観光スポットは市内の各地に点在している様な状況。中心市街地は、点在する観光スポットを繋げるハブとして発展させ、観光客に消費活動を促せる形を狙っていきたいと考えている。その役割を担うのに最もふさわしいのが、中央一丁目地区の再開発だと考えている。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	<p>組合としては、ホテルの誘致を以前から積極的にしている状況。 しかし、事業の採算性や、昨今の物価高騰等を考えると、今建っている既存のホテルの規模を建てるのが精一杯だと感じる。さいたま市のシティホテルのような規模のホテルがあってもよいと思うが、ビジネスとしての採算性を考えると、交渉も厳しいと感じざるを得ない。</p>
委員	<p>《 報告事項 3 委員の変更について 》 行政という立場において、思想の偏っていない団体の代表者から委員を選定することを期待する。</p>
議長	<p>以上で本日の議題はすべて終了とさせていただきます。</p>
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和8年 5月28日 署名者の職・氏名 春日部市中心市街地まちづくり審議会委員 鈴木敏仁（原本は自署）</p>	